

木の家づくりを通じて暮らしを提案する

KoKoLab.

隔月刊ココラボ通信

NO. 92

2021.August

完成現場報告 焼津市 / 『ZOの家』

木の家は十人十色

—クラシックデザインに囲まれて—

木の家は十人十色

—クラシックデザインに囲まれて—

完成現場報告

焼津市 / 『Z0の家』

文・写真 / ココロポ 山崎健治

今回ご紹介するTさんのお宅は、静岡県焼津市に建築されました。近隣の藤枝市や島田市と比べても個性的な街で、私の印象は「元気の街」というイメージです。私の中で焼津市は「ちよつ」と思い出深い地域で、独立してまだ個人事務所として仕事をしていた時に焼津市での仕事が重なり、毎日のように打合わせや現場に出掛けていました。独立して初めての仕事も焼津市のお客さんで、当時住宅メーカーから独立した私の住宅設計を任せてくれ、船出のきっかけをつくってくれました。そのお宅の完成後に2軒の依頼が続き、設計だけでなく施工も請け負うようになり、現在の会社を立ち上げる事が出来ました。その後も焼津市での仕事は多く、現在では15軒程の住宅を建築させてもらい、会社のある島田市に続いてたくさん仕事をさせていたでいる街となっています。今回ご紹介するTさんのお宅は、会社設立前に建築させてもらったFさんのお宅からも近く、懐かしさを感じながら現場に行き来していたことを思い出します。焼津市の話が長くなりましたが、そんなご縁を感じる地域の家づくりにTさんのセンスがプラスされ、個性豊かな木の家がまた1軒完成しました。



階段下のスペースに設けたカウンターコーナー。アンティークのウイングチェアが個性的な雰囲気を出している。階段のササラと手摺はアイアンで製作、木でつくると重たい印象になる階段も、アイアンでつくると軽やかにつくることができる。

ダイニングを照らす照明は、ルイスポールセンの『PH3/2-3琥珀ペンダント』。日本300台限定復刻の商品をTさんがゲット。小ぶりだが存在感のあるペンダントライトです。チークのエクステンションテーブル、ウェグナーの『PP701チェア』との相性は間違いなし。

だわっているとは驚き…。新築してからいろいろ揃える方は多いですが、アパート暮らしでも自分たちの世界をここまで表現している方は出会ったことがありませんでした。手持ちの家具も多く、それらを新築でも利用していくプランを提案していきましたが、やはり木の家の相性もあり、全てを利用することは難しく、Tさんも木の家になったらその家に合ったインテリアにしていきたいと話していました。最終的には、元々あったアンティークの食器棚をキッチンとダイニングの仕切りに利用し、テーブルや椅子などは、木の家に合わせてTさんが選んだインテリアとなりました。素材やデザインにはとても敏感なTさんですが、家は小さくコンパクトな家にしたと希望がありました。平屋で暮らせる間取りを基本に考え、将来子供室に使える屋根裏的なスペースを2階につくりました。Tさんの家の間取りの中で特徴的なのが、玄関とキッチンの間にある4帖の土間収納です。家の規模からすると少し広めの玄関収納ですが、キャンプ用品や季節の道具など、いろいろな物をひとつの場所にまとめ、家族みんなが一目でわかる収納をつくりました。こだわりながら進めた家づくりも2018年の春に完成し、新しい暮らしがスタートしましたが、Tさんの家づくりはまだまだ終わりません。昨年の秋、第二弾の計画として、外構と造園工事を行いました。



吹き抜けのある開放的なダイニング空間。キッチンと間仕切りにTさんが所有していたアンティークの食器棚を設置した。新しいものと古いもの、違和感なく溶け込み、ひとつの世界をつくっている。

木の家とクラシックデザインの調和

当社に初めて連絡をくれた当時、Tさん夫婦は焼津市のアパートに暮らしていました。まだこれから土地を探していきたいといったタイミングでしたが、木の家の事、板倉の家の仕組みなど、いろいろな話をさせていただきました。新しく土地を購入して家づくりを考えていたTさんですが、焼津市にあるご実家の敷地の隣も候補のひとつとしてありました。しかしこの地域が市街化調整区域であることや、造成、隣家との境界確認などもあり、なかなか手強そうな土地でした。ですが、敷地の大きさも十分あり、目当たり、風通しなども良さそうな土地だったので、思い切ってその土地での計画をスタートする事になりました。土地の話を進めながら、具体的なプランや空間についても話を進めていきました。私の打合せスタイルとして、打合せの中で一度は現在の住まいを見せていただくようにしています。今回も早い段階で暮らしぶりを拝見させて頂きました。一枚板とアイアンの足で出来た大きなダイニングテーブル、アンティークな食器棚、椅子も、テレビ台もこだわりいっぱいインテリアでした。車やファッションなどオシャレなお二人ではありましたが、インテリアにもここまでこ



建物の完成後、外構と一緒に作った箱庭空間。コンパクトなスペースを上手に使い、趣のある庭が出来上がった。背景となる左官壁とのコントラストが綺麗で、板塀とは違った雰囲気になった。

箱庭スペースに植えたほとんどの植栽は、元々Tさんが浜北の植木屋さんから購入したものを利用した。アブラツジ、カエデ、アオダモなどの山取りの木を中心に集め、細身に繊細な雰囲気になった。



外構の塀、植栽と一体となった外観。大きく葺き下ろした大屋根と台形FIX窓をファサードとし、RC造(鉄筋コンクリート構造)でつくった左官壁の塀が安定感を出し、塀の前後に植えた植栽、車庫の格子戸が立体的な奥行きをつくっている。

閉じる空間と左官壁

家の完成から2年後、Tさんから相談を受けていた外構計画が本格的にスタートしました。主な課題は駐車場と植栽、家の完成に合わせてように第一子が生まれ、生活も大きく変わりました。車も大きくなり(趣味も大きく)駐車スペースについて悩みがありました。元々は玄関前に一台分の駐車スペースを確保し、軒を利用して濡れずに乗り降り出来るプランでしたが、車が大きくなったこともあり、別の場所に駐車スペースをつくることにしました。実家の敷地を少し借りて考えてみたりしましたが出入りの問題などあつて上手くいかず、最終的には、大きく確保していた庭スペースを利用して車庫をつくることになりました。大きな庭はたくさん木を植えて…と考えていましたが、植栽の管理や隣家との距離感などもあり、あえて車庫と壁を設けることで室内からのプライバシーを高めることにしました。今までと比べるとコンパクトな植栽スペースになりましたが、箱庭のようでも落ち着きのある空間が生まれました。元々植栽にはとても興味があったTさん、木の種類や特徴も勉強し、自分で庭をつくりたいと考えていましたが、実際にやってみるとなかなか上手くいかず、最終的には既存の木を上手く利用してもらいながら、東香園さん(ココラボ通信91号で紹介した造園屋さん)にお願いする事になりました。車庫づくりと合わせてもうひとつ、外観と合わせた塀をつくることになりました。これはTさんのかねてよりの希望で、いつか実現したいと強く思っていた事でした。塀の高さや仕上げなど、いろいろパターンで考えましたが、一番しっくりくるのが外壁と同じ仕上げの左官壁でした。職人のつくる壁の魅力は繊細ですが、陰影や表情など、毎日見ている人にはわかる魅力だと思えます。塀の足元には諏訪鉄平石を貼り、天端には小さな屋根をつくりました。昔の土塀のイメージを現代風にアレンジしたデザインで、安定感と品のある印象の外観になりました。塀に合わせて植栽を入れてもらう事になり、アオダモを中心とした爽やかなスペースが出来ました。箱庭も塀も木の陰が左官壁に映り、一段と空間の魅力を上げてくれると思います。Tさんの夢が職人の手仕事で叶い、ますますお気に入りの家になってきたようです。



玄関ホールにお気に入りの一脚を置いて庭を眺める。日常の中にある贅沢な時間だが、自分をリセットしてくれる大切な時間。住まいは安心安全に加え、心の休まる場をつくりたいと思う。

仕様内容

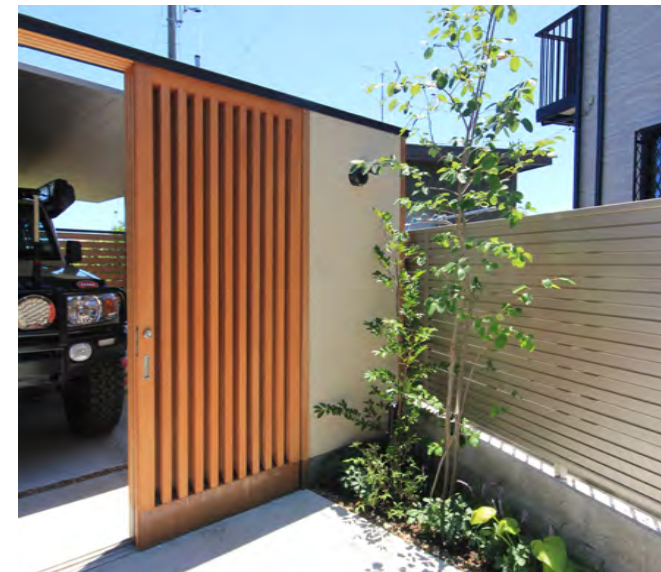
家族構成	家族3人
敷地面積	262.45㎡
建築面積	80.19㎡
延べ床面積	83.16㎡
構法	落し込み板壁構法
外部仕上	屋根 ガルバリウム鋼板縦ハゼ葺き 外壁 ガルバリウム鋼板角波タテ貼 マサ土掻き落し仕上げ 外部建具 木製オリジナル建具 ナラ、桧(ペアガラス) アルミサッシ(ペアガラス)
内部仕上	天井仕上 杉本実張り 厚30mm 壁 青森ヒバFJ本実板張り 厚15mm 杉落し込み板現し、漆喰塗、 青森ヒバFJ本実板張り 床 杉本実板 厚30mm 内部建具 木製オリジナル建具
設備	キッチン ステンレスヘアライン天板 オリジナルキッチン 洗面化粧台 オリジナル洗面化粧台 浴室 オリジナル浴室(壁・天井：青森ヒバFJ、 床・浴槽：ハーフバス)
竣工	平成30年3月



扉の一部に設けた出入り口の扉。趣のある出入り口が出来、扉の先に何があるのか想像を膨らましてしまう。庭園灯と左官壁、植栽の取り合わせが雰囲気を出している。



格子戸で仕切られた車庫スペース。4枚の引戸に4本のレールをつくり、3枚分開放することで車の出入りできる入り口を確保している。



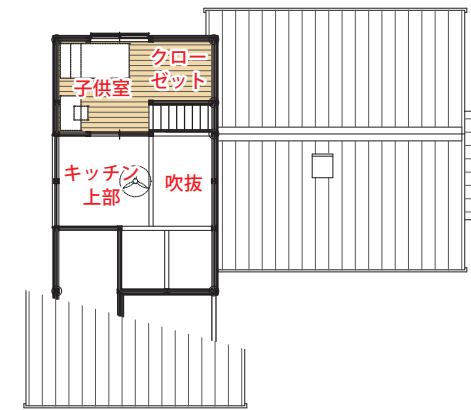
隙間空間として出来た三角スペースも立派な植栽スペースに。車の出入りに邪魔にならないように、細身のジュンベリーを植えてもらった。



車庫の屋根はLIXILのカーポートSCシリーズを採用し、箱庭との間に高さ1800程の板壁をつくった。シンプルなデザインのカーポートで、空間に合った車庫をつくることが出来た。



1F 敷地平面図



2F 平面図

こだわりの住まいで、最高の日常を

現代の暮らしにおいて、「家を持つ」という選択はだんだんと少なくなってきたと感じます。よく賃貸と持ち家では、生涯費用はどちらが少ないかと言われますが、マンションや建売住宅なども増え、住まいの選択は多様になり、費用や利便性など、様々な判断基準があると思います。私たちの提案する木の家は、便利さや低コストではないと思いますが、それ以上に、空間の魅力や心の豊かさなど、生涯に渡って満足していただける住まいをつくりたいと考えています。今回ご紹介したTさんのお宅をみると、インテリアや外構、植栽にこだわり、生活をする場と考えると少し贅沢な空間をつくっていると思いますが、家全体の大きさをコンパクトに計画し、その分の費用を素材やデザインにかけていきます。家は大きく設計するだけで費用がかかります。基礎や屋根、壁や床など、面積というのはそれだけで費用が掛かり、全体のコストを上げてしまいます。大きな家が広いのではなく、開放的な窓や吹き抜けなど、広く見せる工夫は色々あります。家の費用の使い方、もう一度考えてみても良いと思います。住まいの計画は多くの方が一生に一度、後戻りできない計画です。生涯にわたり満足することのできる住まいをつくりましょう。

元気一杯！ 笑顔になる野菜

～心も体も元気になって、笑顔になる野菜～

Lalala PLaNET plus (ラララ・プラネット・プラス)

蓮華寺池公園近くにある無農薬野菜の八百屋です。地元の新鮮でおいしいお野菜、有機野菜や自然農法の野菜を取り扱い、お野菜を中心とした心と体がほっこりするランチも大好評。元気で笑顔になるお野菜を食べに買いに来てください。

[住所] 藤枝市若王子1-2-34 [Facebook] LalalaPLaNETplus
[TEL] 090-1985-6285 [Instagram] lalala_plus.kumi

ちいっとらっつ農舎さん

Lalala PLaNET plus さんで取り扱っている安心安全な野菜は、どのような農家さんがどのようなこだわりをもってつくっているのでしょうか。採れたての野菜を届けてくださる農家さんの想いをご紹介します。

主にお茶や加工品を出してくれているちいっとらっつ農舎の歩さん。瀬戸谷に住み子ども2人を育てながら自然に寄り添った暮らしをしています。

「進路に悩んでいた大学生の時、畑で子どもも大人も目をキラキラ輝かせているのを見て、『農業は自然と人との架け橋だ』と思ったことがきっかけで農業の道へと進みました。現代の農村では過疎化や高齢化がとても深刻です。60代、70代の方が農業を支えています。10年後、中山間地域の農業はどうなってしまうのか…。だからこそ、若い世代が農業や農村の技術や知識、文化を継いでいかなければと思いました。美味しい作物は、農薬・化学肥料を使わなくても、豊かな自然からの恩恵を受けることにより収穫することができます。環境に負荷をかけないよう、肥料として入れるものはできるかぎり農園内もしくは地域内で手に入るものとし、土に還すようにしています。作物を通して、持続可能で循環する農と暮らしのあり方を表現していきたいと思っています。そして実際に農業に携わらなくても、農の心を持つこと、食べることを通して農村と繋がることは、誰でもできる未来への貢献だと思います。まずは美味しいこと！そしてそれらの作物が環境にも人の健康にも良いものを作っていきたいです。」



そう話してくれた歩さんの笑顔はいつもキラキラしていて魅力的。お茶だけでなく、自ら育てたお米や大豆・野菜から昔ながらの作り方で作られた玄米糎やお餅・お味噌・漬物などは逸品です。環境の事を考え、農業や暮らしでも寄り添い生活している歩さんを見ていると本当の豊かさって何だろう？といつも考えさせられます。

モロヘイヤとオクラとミニトマトとツナの和え物

- 1) モロヘイヤとオクラは茹でる。ミニトマトを切り、ワカメは戻しておく。
- 2) モロヘイヤ、オクラ、ミニトマト、ワカメ、ツナを入れて、めんつゆ、砂糖少し、酢(レモン汁でもOK)を入れて和える。



※パスタやおそうめんに乗せて食べても美味しい。

モロヘイヤと野菜たっぷりドライカレー

- 1) 野菜はサイコロ大に切る。モロヘイヤはざっと茹でて細かく刻む。
- 2) フライパンに、油、みじん切りにした生姜とニンニクを入れ、香りがたつまで弱火にかけてから、モロヘイヤ以外の野菜を炒める。
- 3) 油が回ったらひき肉を入れ、火が通りポロポロになったら水を少し入れて煮る。
- 4) 野菜に火が通ったらモロヘイヤを入れ、カレー粉を溶かし、ケチャップとソース、もしくはケチャップとめんつゆで味付けをして出来上がり。



※煮込まないので、時短で美味しくできちゃう。野菜がたっぷり取れるドライカレーです。

「ココラボ設置店」より...

こだわりのお店紹介

花仕事ヴェルデ



“こころごと はなしごと”を理念にお客様の気持ちが一番考えた花や植物のコーディネートをしています。花は、季節や組み合わせでどんな雰囲気も演出できる魔法のツールです。生産者にもこだわった良質な花の仕入れ、個性的な花の仕入れをすることはもちろん、多彩な空間装飾の実績で鍛え抜かれたセンスと体力で見る人の心が動かされるアレンジや装飾を心がけています。

花仕事ヴェルデ

静岡市駿河区宮本町5-9
[TEL] 054-340-2587
[OPEN] 9:30~18:30
[定休日] 火曜日定休
[URL] <http://hanashigoto-verde.com/>

ヴェルデさんからお知らせ

花や植物はインテリア

花瓶や小物もコーディネートに欠かせない大切なツールです。シンプルなガラス器からヨーロッパデザインの個性的なものまで…使いやすく、お手頃な価格で高見えする花飾りが楽しくなるモノを揃えています。またそれらを上手に活用する方法のアドバイスもさせていただきます。自分が好きな自分らしいコーディネートのお手伝いをします。最新情報は随時、インスタで発信。左記QRコードから、是非フォローを。



レストランセラヴィ



静岡市駿河区にある一軒家のレストランです。南欧を旅しているような空間で、一歩足を踏み入れればゆったりとした時に胸が踊ります。漆喰の落ち着いた店内で召し上がって頂く料理は主に地産にこだわり、素材の力を余すことなく使い切る、素材の力に寄り添うものを心がけています。日本の、静岡の四季を大切に、季節感あふれる料理に舌鼓を打ちながら、流れる時間にそっと身体を預けるようにお過ごしください。

レストランセラヴィ

静岡市駿河区馬淵4-10-6
[TEL] 054-287-8115
[OPEN] 11:30~14:00 18:00~22:00
[定休日] 毎週水曜日 第1、3火曜日
[URL] <https://hitosara.com/0005009478/>

セラヴィさんからお知らせ

気軽にフレンチを楽しめます！

セラヴィでは季節を感じられるコースメニューをご用意しております。素材の魚・肉・野菜や果物はシェフが納得するものだけを使用しています。風土や季節を大切にしたいセラヴィでしか味わえない至福のお皿の数々をご用意しております。お皿の細部までこだわり、お客様のおなかだけでは無く心も満足するお料理を是非お召し上がりください。スタッフ一同心よりお待ちしております。



KoKolaB.

隔月刊 ココラボ通信 No.92
2021年8月発行

発行人 有限会社こころ木造建築研究所
代表 山崎健治

〒427-0011 静岡県島田市東町1047-2

TEL : 0547-54-4556

FAX : 0547-54-4557

http://www.kokolab.jp

E-mail : office@kokolab.jp

担当

山崎良江(「ココラボ通信設置店より…」担当)

編集 … Branch 村上幸枝

印刷所 … 松本印刷株式会社

※本誌記事の無断転用や
コピーを禁じます。



[購読を希望されます方へ]

当社ホームページのお問合せフォーム又はTEL、FAX、
E-mailのいずれかでお申込み下さい。

年間購読料…1,200円 / 一冊定価…200円

(上記料金は発送費として頂いております。)

※当社、もしくは通信設置店では、無料配布しています。

会社概要

当社は、地域木材と職人の伝統技術を用いて木の家造り
を行っている設計事務所です。隔月発行の『ココラボ通
信』、また『こころばスクール』やイベントなどを通し、住
宅や暮らしを取り巻く様々な情報を発信しております。

編集後記

暮らしに必要なものとして、衣・食・住の3つが挙げら
れますが、衣と食の選択に比べて住、つまり住まいはそ
う簡単には決められないものです。今日は簡単な普段
着だけど、大切な日はオシャレしてとか、忙しい日は冷
蔵庫にあるもので簡単に料理。でも家族の集まる特別
な日は朝から仕込んでご馳走を…など、衣と食は日々
の暮らしに合わせて変えることができますが、住まい
は簡単には変えられない。アパートであっても一旦決
めた住まいは数年暮らすことになり、一軒家となれば
多くの方が一生を暮らすことになる。住の選択は一生
の暮らしを決めることになると考えると、安易な選択
ではなく、素材も、構法も、間取りも、じっくりと時間
をかけて後悔のない選択をしてほしいと思います。

(山崎健治)



Information

🏠 静岡市『こころばの家@静岡』構造見学会を行います。

kokolab vilage(ココラボビレッジ)第二弾として、こころばの家@静岡の建築が始まりました。小さな建物の中にたくさんのこだわりをぎゅっと詰めた木の家展示場、素材と空間、そして職人の技術があるからこそ出来る高精度な納まりなど、ココラボの提案する本物の木の家をつくりたいと思います。新川通りに面した立地を生かし、小さなお店も併設予定です。

◆ 日時：2021年9月下旬(日) 10:00~17:00(予約制)

◆ 場所：静岡市

※見学会の詳細情報はココラボホームページ [http://www.kokolab.jp] でお知らせします。

※コロナウィルスの影響により、開催の変更がある場合があります。ホームページにてご案内いたします。

🏠 木の家相談会

木の家の仕組み、予算など、
何でもご相談ください。

◆ 日時：9月4・5日(土・日)

10月2・3日(土・日)

10:00~17:00(予約制)

◆ 場所：『こころばの家』

🏠 こころばの家オープン日

コロナウィルス対策として予約制で行います。
ご希望の日時をご連絡ください。



9月 3(土) 4(日)
10:00~16:00

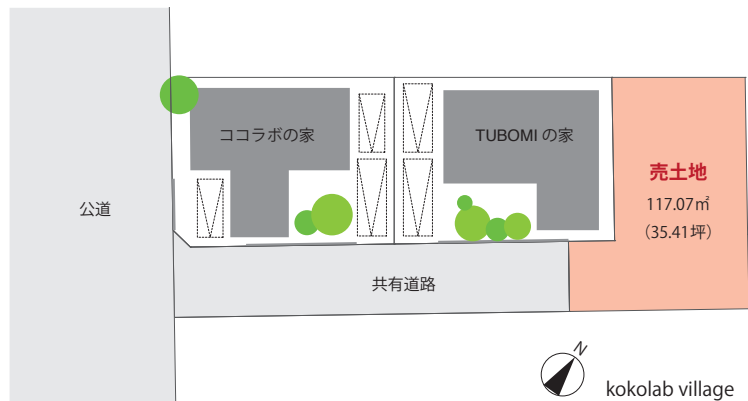


10月 2(土) 3(日)
10:00~16:00

売り土地情報

kokolab vilage(ココラボビレッジ)に暮らしませんか？

静岡市駿河区にkokolab vilageと題した小さな分譲地があります。区画は3つあり、ひとつは当社の常設展示場として現在工事中。もうひとつは先日完成した『TUBOMIの家』のMさんのお宅となり、今回3区画目の土地の住まい手を募集します。kokolab vilageは、街中ではありますが、たくさんの緑に包まれ、暮らす人にも、地域の人にも、そこを通る人にも優しい小さな街かどをつくりたいと考えています。場所は静岡駅まで徒歩20分程の住宅地にあり、買い物や移動などの利便性も高い場所です。ご興味のある方は当社までご連絡ください。



◆ 土地情報

住 所：静岡市駿河区新川二丁目5-28

(分譲地全体の住所)

※google mapで検索してもらうと
分譲地の様子がわかります。

用途地域：第2種住居地域

建ぺい率：60%・容積率：200%

土地面積：117.07㎡(35.41坪)

※別途、進入路の負担面積あり

土地価格：お問い合わせください。

(仲介なし、自社物件)

設 備：上水道、下水道、雨水樹、都市ガス
共、敷地内に引き込み済み。

進 入 路：分譲地共有の進入路(幅4.1m)があります。詳細はお問い合わせください。

学 区：静岡市立大里西小学校、静岡市立大里中学校

そ の 他：地盤調査済み、地耐力良好・静岡駅まで徒歩20分程度(google mapより)、分譲地規約有り、建築条件付き(弊社で建築してくれる方)・近隣公園(都市計画法53条申請有り)

